取扱説明書

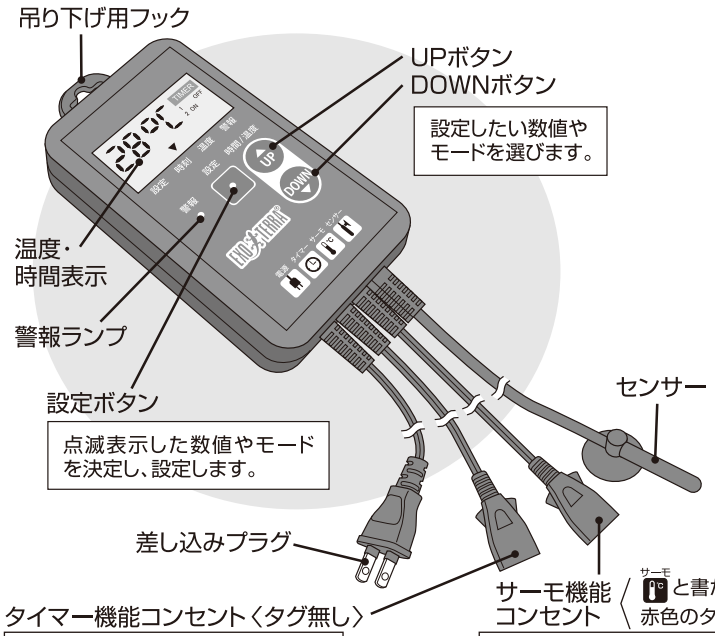
この製品はAC100V専用です

爬虫類・両生類用タイマー機能付電子サーモスタット

タイマーサーモ RTT-1

各部の名称

【タイマーサーモ RTT-1】



本体パネル下部に「タイマー」と書かれたコンセントです。
設定したタイマーに合わせて通電をON/OFFします。決まった時間でON/OFFしたい、300W以下の電気器具を接続してください。

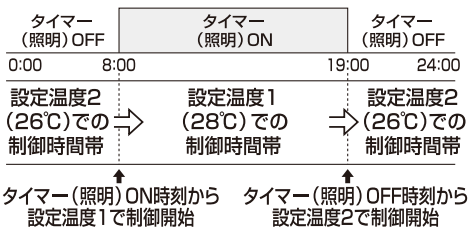
器具の接続間違いにご注意ください

本体パネル下部に「サーモ」と書かれたコンセントです。
設定した温度と、センサーが検知した温度の差に準じて通電をON/OFFします。温度変化に準じてON/OFFしたい、300W以下の電気器具を接続してください。

照明のON時/OFF時で異なる制御温度を設定でき、自然環境の昼と夜を再現できます。

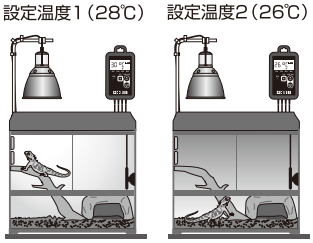
〈初期設定状態での使用例〉

タイマー（照明）ON時刻/8:00、タイマー（照明）OFF時刻/19:00
温度設定1/28℃、 温度設定2/26℃



昼:8:00～19:00
照明:ON
設定温度1（28℃）

夜:19:00～8:00
照明:OFF
設定温度2（26℃）



この度は、ジェックス「タイマーサーモ RTT-1」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本製品は、保温器具・照明器具を接続して、爬虫類・両生類の飼育ケージの温度と照明を管理するためのタイマー機能付きサーモスタットです。
この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。

⚠ 拡大損害が予想される事項
禁止行為　分解禁止　ぬれ手禁止
必ず行う　差し込みプラグを抜く

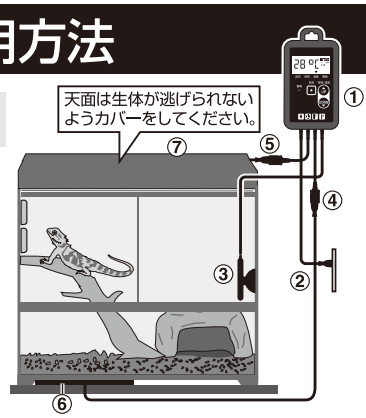
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

■もくじ■

① 各部の名称 …… 1
② ご使用方法 …… 2~4
・取り付け図 …… 2
・取り付け方 …… 2
・基本動作とボタン操作 … 2
・設定方法 …… 2~4
・警告について …… 4
・取り外し方 …… 4
・保管方法 …… 4
・お手入れ方法 …… 4
③ 安全上のご注意 …… 5
④ 故障かな？と思ったら … 6
⑤ Q&A …… 6
⑥ 仕様 …… 6

ご使用方法

【取り付け図】



※タイマーサーモ RTT-1 以外の商品は別売です。

①本体
②差し込みプラグ
③センサー
④サーモ機能コンセント（赤色のタグ付）
⑤タイマー機能コンセント（タグ無し）
⑥保温器具
⑦照明器具

※センサー・コード等は、飼育動物にかじられたり、傷つけられないようにカバーをする。
※本体を飼育ケージや照明器具等の上に置いたり、ひっくり返して使用しない。必ず、飼育ケージよりも高い位置に吊り下げて使用する。
※センサーは床材に埋めたり、水中にセットしない。
※本体に貼られているタグ・ラベルははがさない。

【取り付け方】

本製品のご使用には、爬虫類・両生類飼育用の保温・照明器具等（別売）が必要です。

①本体は、水がかからない、直射日光のあたらない、通風の良い場所を選び、市販のフック等（別売）で吊り下げる。

②保温器具をケージに設置し、差し込みプラグをサーモ機能コンセント（赤色のタグの付いたコンセント）につなぐ。

③照明器具をケージに設置し、差し込みプラグをタイマー機能コンセント（タグの無いコンセント）につなぐ。

④センサーをケージ内の温度を測定したい位置（保温器具の熱気等が直接あたらず、生体がいたずらしにくい位置）に、付属の吸盤で固定する。

⑤本体の差し込みプラグをコンセントに接続する。（接続すると、現在温度を表示する）

⑥「設定方法」に従って、現在時刻・制御温度・タイマー等を設定する。（設定をしない場合、下記初期設定状態で作動する）

【基本動作とボタン操作】設定の前に必ずご確認ください

●本製品の初期設定は右記の通り。

●待機状態では、液晶はセンサーが検知している現在温度を表示する。

●待機状態では、液晶の「1 ON（又はOFF）」はサーモ機能コンセントへの通電の有無を、「2 ON（又はOFF）」はタイマー機能コンセントへの通電の有無を表示する。

左図のような場合、サーモ機能コンセントは通電しておらず（接続されている保温器具を作動させない）、タイマー機能コンセントは通電している（接続されている照明器具を作動させる）状態を示しています。

●設定モードは、「UPボタン」「DOWNボタン」を押すことで右記の順に表示され、設定ボタンを押すことで設定モードを選択できる。

●待機状態で「UPボタン」「DOWNボタン」を同時に長押しすることで、現在の設定状態を確認することができる。右記の順に全て2秒づつ表示し、現在温度表示に戻る。

●待機状態で「UPボタン」を1回押すと、現在時刻を表示し、3秒後に現在温度表示に戻る。

●「UPボタン」「DOWNボタン」は、数値設定時に長押しすることで早送りできる。

●「UPボタン」を押して設定したい数値を行き過ぎた場合は「DOWNボタン」を押すことで、戻ることができる。

※初期設定

現在時刻		12:00
タイマー時刻（タイマー機能コンセント）	ON時刻	8:00
	OFF時刻	19:00
設定温度（サーモ機能コンセント）	設定温度1	28℃
	設定温度2	26℃
警報温度	上昇	設定なし
	降下	設定なし
全点灯・消灯		設定なし

UPボタン
❶現在時刻設定
❷タイマーON時刻設定
❸タイマーOFF時刻設定
❹設定温度1（タイマーON時の制御温度）設定
❺設定温度2（タイマーOFF時の制御温度）設定
❻上昇警報温度設定
❼降下警報温度設定
❽全点灯・全消灯設定
↓
❶現在時刻設定に戻る
DOWNボタン

【設定方法】初期設定状態から設定した例です

現在時刻を設定する。例）現在時刻を15:30に設定する場合

① 設定 を1回長押しする
現在時刻設定モードになる。液晶の〈12:00（時・分表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉が点滅する。（図1）

② 設定 をもう1回押す
液晶の〈12（時表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉が点滅し、現在時刻（時）設定モードになる。（図2）

③ UP と DOWN を押して時間を合わせる
時表示を〈15（現在の時間）〉に合わせる。

④ 設定 を1回押す
液晶の〈00（分表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉が点滅し、現在時刻（分）設定モードになる。（図3）

⑤ UP と DOWN を押して分を合わせる
分表示を〈30（現在の分）〉に合わせる。

⑥ 設定 を1回押す
設定した〈15:30（現在時刻）〉が点灯し、現在時刻の設定が完了。
約3秒後、現在温度表示に戻る。

図1

図2

図3

タイマーの時刻を設定する
（タイマー機能コンセントの設定）

タイマーON時刻・OFF時刻の設定は、間隔が10分未満では設定できません。必ず10分以上あけて時刻設定してください。全点灯・全消灯を設定したい場合はP4「全点灯・全消灯を設定する。」の項目をご確認ください。

タイマーON時刻を設定する。

例）タイマーON（照明点灯）時刻を9:30に設定する場合

① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。

② UP を1回押す
タイマーON時刻設定モードが表示され、液晶の〈8:00（時刻表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉〈TIMER〉〈1〉〈ON〉が点滅する。（図1）

③ 設定 を1回押す
液晶の〈8（時表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉〈TIMER〉〈1〉〈ON〉が点滅し、タイマーON時刻（時）設定モードになる。（図2）

④ UP と DOWN を押して時間を合わせる
時表示を〈9（タイマーON:時）〉に合わせる。

⑤ 設定 を1回押す
液晶の〈00（分表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉〈TIMER〉〈1〉〈ON〉が点滅し、タイマーON時刻（分）設定モードになる。（図3）

⑥ UP と DOWN を押して分を合わせる
分表示を〈30（タイマーON:分）〉に合わせる。

⑦ 設定 を1回押す
設定した〈9:30（タイマーON時刻）〉が点灯し、タイマーON時刻の設定が完了。約3秒後、現在温度表示に戻る。

図1

図2

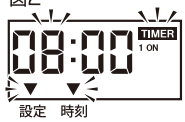
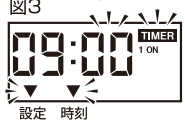


図3



タイマーOFF時刻を設定する。

例）タイマーOFF（照明消灯）時刻を20:30に設定する場合

① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。

② UP を2回押す
タイマーOFF時刻設定モードが表示され、液晶の〈19:00（時刻表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉〈TIMER〉〈1〉〈OFF〉が点滅する。（図1）

③ 設定 を1回押す
液晶の〈19（時表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉〈TIMER〉〈1〉〈OFF〉が点滅し、タイマーOFF時刻（時）設定モードになる。（図2）

④ UP と DOWN を押して時間を合わせる
時表示を〈20（タイマーOFF:時）〉に合わせる。

⑤ 設定 を1回押す
液晶の〈00（分表示）〉〈設定▼〉〈時刻▼〉〈TIMER〉〈1〉〈OFF〉が点滅し、タイマーOFF時刻（分）設定モードになる。（図3）

⑥ UP と DOWN を押して分を合わせる
分表示を〈30（タイマーOFF:分）〉に合わせる。

⑦ 設定 を1回押す
設定した〈20:30（タイマーOFF時刻）〉が点灯し、タイマーOFF時刻の設定が完了。約3秒後、現在温度表示に戻る。

図1

図2

図3

制御する温度を設定する
（サーモ機能コンセントの設定）

設定温度1（タイマーON時の制御温度）を設定する。

例）設定温度1（照明点灯時の制御温度）を32℃に設定する場合

① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。（図1）

② UP を3回押す
設定温度1設定モードが表示され、液晶の〈28℃（温度・℃表示）〉〈設定▼〉〈温度▼〉〈ON〉が点滅する。（図2）

③ 設定 を1回押す
液晶の〈28（温度表示）〉〈設定▼〉〈温度▼〉が点滅し、設定温度1設定モードになる。（図3）

④ UP と DOWN を押して制御温度を合わせる
温度表示を〈32（設定温度1の制御温度）〉に合わせる。

⑤ 設定 を1回押す
設定した〈32℃（設定温度1の制御温度）〉が点灯し、設定温度1の設定が完了。約3秒後、現在温度表示に戻る。

図1

図2

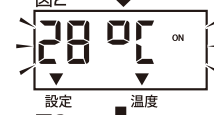


図3

設定温度2（タイマーOFF時の制御温度）を設定する。

例）設定温度2（照明消灯時の制御温度）を23℃に設定する場合

① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。（図1）

② UP を4回押す
設定温度2設定モードが表示され、液晶の〈26℃（温度・℃表示）〉〈設定▼〉〈温度▼〉〈OFF〉が点滅する。（図2）

③ 設定 を1回押す
液晶の〈26（温度表示）〉〈設定▼〉〈温度▼〉が点滅し、設定温度2設定モードになる。（図3）

④ UP と DOWN を押して制御温度を合わせる
温度表示を〈23（設定温度2の制御温度）〉に合わせる。

⑤ 設定 を1回押す
設定した〈23℃（設定温度2の制御温度）〉が点灯し、設定温度2の設定が完了。約3秒後、現在温度表示に戻る。

図1

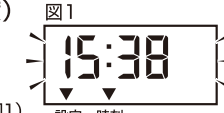


図2

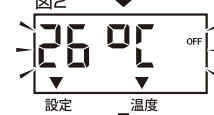
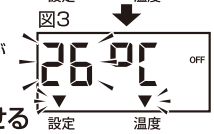


図3



上昇警報温度を設定する。

上昇警報温度は、温度設定1・2のいずれか高い方の温度+2℃から、45℃の範囲内で設定できます。

例）上昇警報温度を38℃に設定する場合

① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。（図1）

② DOWN を3回押す
上昇警報温度設定モードが表示され、液晶の〈UP:——（上昇警報温度）〉〈設定▼〉〈温度▼〉〈警報▼〉が点滅する。（図2）

③ 設定 を1回押す
液晶の〈——（上昇警報温度）〉〈設定▼〉〈温度▼〉〈警報▼〉が点滅し、上昇警報温度設定モードになる。（図3）

④ UP を押して上昇警報温度を合わせる
液晶の温度表示を〈38（設定したい上昇警報温度）〉に合わせる。

⑤ 設定 を1回押す
設定した〈UP:38（設定したい上昇警報温度）〉が点灯し、上昇警報温度の設定が完了する。約3秒後、現在温度表示に戻る。

図1

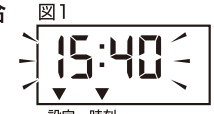
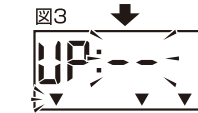


図2

図3

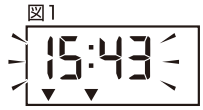


降下警報温度を設定する。

降下警報温度は、5℃から、温度設定1・2のいずれか低い方の温度−2℃の範囲内で設定できます。

例）降下警報温度を20℃に設定する場合

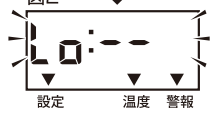
図1



① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。（図1）

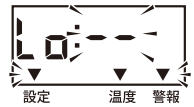
② DOWN を2回押す
降下警報温度設定モードが表示され、液晶の〈Lo:−−（降下警報温度）〉〈設定▼〉〈温度▼〉〈警報▼〉が点滅する。（図2）

図2



③ 設定 を1回押す
液晶の〈−−（降下警報温度）〉〈設定▼〉〈温度▼〉〈警報▼〉が点滅し、降下警報温度設定モードになる。（図3）

図3



④ UP を押して降下警報温度を合わせる
液晶の温度表示を〈20（降下警報温度の希望温度）〉に合わせる。

⑤ 設定 を1回押す
設定した〈Lo:20（降下警報温度の希望温度）〉が点灯し、降下警報温度の設定が完了。約3秒後、現在温度表示に戻る。

設定温度を変更すると、上昇・降下警報温度の設定はリセットされます。警報温度も再度設定してください。

全点灯・全消灯を設定する。

全点灯・全消灯を設定すると下記のように作動します。

設定	タイマー機能コンセント	サーモ機能コンセント
AL:−−（設定なし）	設定したタイマーに合わせてON/OFF	タイマーに合わせて設定温度1・2を切り替えて制御
AL:on（全点灯）	常時通電	設定温度1の温度で制御
AL:oF（全消灯）	常時通電なし	設定温度2の温度で制御

① 設定 を1回長押しする
現在時刻表示が点滅し、設定モードになる。（図1）

② DOWN を1回押す
全点灯・全消灯設定モードが表示され、液晶の〈AL:−−〉〈設定▼〉〈TIMER〉〈2〉〈ON〉〈OFF〉が点滅する。（図2）

③ 設定 を1回押す
液晶の〈−−〉〈設定▼〉〈TIMER〉〈2〉〈ON〉〈OFF〉が点滅し、全点灯・全消灯設定モードになる。（図3）

④ UP と DOWN を押して全点灯・全消灯を合わせる
全点灯のとき〈on〉、全消灯のとき〈oF〉に合わせる。「UPボタン」を1回押すと〈oF〉、2回押すと〈on〉になる。

図1

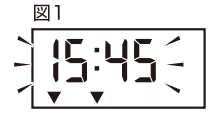


図2

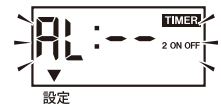


図3

⑤ 設定 を1回押す
設定した〈AL:on（全点灯時）〉〈AL:oF（全消灯時）〉が点灯し、全点灯・全消灯の設定が完了。約3秒後、現在温度表示に戻る。

【警報（エラーメッセージ）について】

いずれも警報ランプと液晶表示（点滅）で知らせます。

表　示	内　容	対　策
上昇警報設定温度 UP:38 温度 警報	ケージ内の温度が設定された上昇警報温度以上になっている	ケージ内の温度を下げるよう対策してください（上昇警報温度より温度が低くなれば自動で復帰します）
降下警報設定温度 Lo:20 温度 警報	ケージ内の温度が設定された降下警報温度以下になっている	ケージ内の温度を上げるよう対策してください（降下警報温度より温度が高くなれば自動で復帰します）
E-01 警報	センサーショート	センサーまたは本体が破損しています。販売店または弊社にお問い合わせいただくか、新しい製品をお買い求めください
E-02 警報	センサーオープン	
E-10 警報	本体エラー	ただちに使用を中止して、販売店または弊社にお問い合わせください

●左記警報は、エラーが解決されないかぎり、表示が継続します。エラー解除のためには、左記対策を実施してください。

●警報表示中も、タイマーやサーモは設定通りに作動します。

●夏期には保温器具が作動しなくても、ケージ内温度が上昇警報温度を超えて警報「UP」を表示する事も有り得ますが、この場合サーモ本体や保温器具の異常ではありません。

バックアップ機能付き
停電時や、不用意に差し込みプラグを抜いた時に、本製品に通電しなくなっても、約1時間はすべての設定を保持します。（1時間以上通電しない状態が続いた場合は、初期設定値に戻る可能性があります。再度すべての設定をしなおしてください。）
※停電中は、各設定が保持されていても、コンセントへの通電はされていないので、接続している器具は作動しません。

【取り外し方】

1. 本体の差し込みプラグを、コンセントから抜く。
2. 保温器具は15分以上放置し、十分に冷めたことを確認してから取り外す。

【保管方法】

1. お手入れ方法にしたがって、汚れなどを取り除く。
2. 購入時の箱などを使い、湿気の少ない冷暗所に保管する。

●廃棄する場合は、居住地の行政の廃棄ルールに従ってください。

【お手入れ方法】

●本体や電源コード、差し込みプラグ、センサーをかたく絞った布で、ほこりなどをふき取ってください。

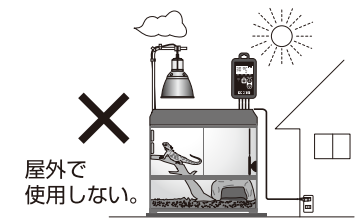
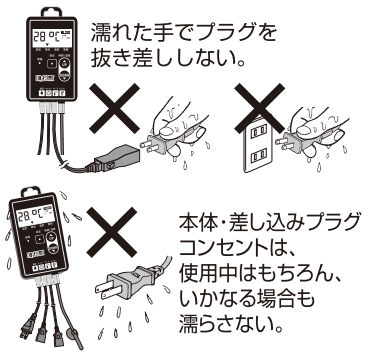
●トラッキング現象（コンセントとプラグの間の発火）防止のため、定期的に乾いた布でプラグ周辺をふいてください。

本製品を掃除する際、シンナー、ベンジンまたはアルコール並びに有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しないでください。
表面が溶けたり変形、変質する恐れがあります。
汚れをとる場合は、ぬるま湯を浸した布を固く絞ってふき取ってください。

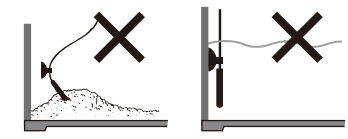
安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、本取扱説明書の内容と違った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」に区分しています。
ご使用の前によく読んでください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告（けいこく） 重大な事故の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害	
	●分解・改造をしない。	火災・感電・異常動作・故障の原因になる。	
	●屋内爬虫類・両生類飼育ケージ以外での使用はしない。	火災や故障の原因になる。	
	●サーモ機能コンセント・タイマー機能コンセントには300W以下の電気器具を使用する。	火災や故障の原因になる。	
	●本書記載以外の用途に取り付けや使用をしない。	火災・感電・故障の原因になる。	
	差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて		
	●本体、差し込みプラグ、コンセントは濡らさない。また、水滴のかかる場所で使用しない。	感電の原因になる。	
	●たこ足配線はしない。	火災・感電の原因になる。	
	●電源コードを傷める行為（曲げる、引っ張る、束ねる、重いものを載せるなど）はしない。	コードがショートや断線して、火災・感電の原因になる。	
	●差し込みプラグは濡れた手で抜き差ししない。	感電の原因になる。	
	●AC100Vの電源以外では使用しない。	火災の原因になる。	
	●差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たず、差し込みプラグを持って抜く。	コードがショートや断線して、火災・感電の原因になる。	

注意（ちゅうい） ケガや器具損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害	
	●子供に操作・セットさせる場合は、必ず大人の監視のもとで行う。	ヤケド・感電の原因になる。	
	●本体を高所から落下させるなど、強い衝撃を与えない。	器具損傷の原因になる。	
	●本体には爬虫類・両生類用の保温器具・照明器具以外はつながない。観賞魚用のヒーターをつながない。	器具損傷の原因になる。	
	●本体は逆さまに設置しない。	伝い水などで内部に水が入り、故障の原因になる。	
	●本体はセンサーを使用している飼育ケージのみで使用し、複数のケージには使用しない。	設定した温度管理ができなくなり、生体が死ぬ原因になる。	
	センサーについて		
	●センサーは床材に埋めたり、水中にセットしない。	設定した温度管理ができなくなり、器具損傷や生体が死ぬ原因になる。	
	●センサーと保温器具は必ず同じ飼育ケージ内に吸盤を使ってセットする。	設定した温度管理ができなくなり、生体が死ぬ原因になる。	
	●かみ癖のある生体に使用する場合は、センサー・コードをかまれない位置にセットしたり、カバーをするなど、十分に注意する。	センサー・コードの破損の原因になる。	

故障かな？と思ったら

症状	点検・処置
タイマーが動作しない	●全点灯・全消灯が設定されていませんか? ●タイマー機能コンセントとサーモ機能コンセントを間違えて接続していませんか?
飼育ケージ内の温度が 設定温度より高い。	●夏季など、室内の温度が設定温度より高くありませんか? ●飼育ケージ内の温度は測定位置によって大きく異なります。 ●温度計の故障や、温度計に誤差が生じていませんか? ●センサーが飼育ケージ内にセットされていますか? ●飼育ケージ内の空気は流動していますか? ●飼育環境に合った容量の保温器具を使用していますか?
飼育ケージ内の温度が 設定温度より低い。	●保温器具は正しく動作していますか? ●冬季など、室内の温度が低すぎませんか? ●飼育ケージ内の温度は測定位置によって大きく異なります。 ●温度計の故障や、温度計に誤差が生じていませんか? ●センサーが飼育ケージ内にセットされていますか? ●飼育ケージ内の空気は流動していますか? ●飼育環境に合った容量の保温器具を使用していますか?

Q&A

質問	回答
停電になりました。	●停電が復旧するまでお待ちください。 ●停電状態が長い時は、温度計でケージ内の温度を確認ください。 ●復旧しましたら、本体の設定がリセットされていないか、正しく作動しているかを確認ください。
タイマーサーモ本体を 水中に落とした。	●すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。 ●再使用はできません。本体内のIC回路は水に弱く、機能しなくなります。
その他、ご使用に際して異常と思われる場合は、ご使用を中止して、お買い求めの販売店もしくは当社にお問い合わせください。 安全をご確認いただいた後、ご使用を再開してください。	

仕様

品　名　品　目	爬虫類・両生類用タイマー機能付電子サーモスタット
定格電圧／周波数	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	600W
制御温度範囲	15～40℃（温度設定精度±1℃）〈2段階制御〉
使用できる保温器具容量	300Wまで
使用できる照明器具容量	300Wまで
温　度　表　示	整数表示
警報表示（ランプ）	異常温度上昇警報（［高温温度設定値+2℃］～45℃の範囲で設定可能） 異常温度降下警報（5℃～［低温温度設定値−2℃］の範囲で設定可能） センサー異常警報、本体異常警報
時　間　表　示	4桁　24時間表示（時間精度±5分/月）
バックアップ機能	約1時間保持（時計、設定タイマー、設定温度、警報温度保持）
使用可能温度範囲（本体）	0～40℃
使用可能周囲湿度（本体）	10～85%（結露なき事）
製品サイズ	本体サイズ：約 幅7.8×奥行3.0×高さ15.3cm　　電源コード：約1.3m センサーコード：約1.5m　　サーモ機能コンセントコード：約0.2m タイマー機能コンセントコード：約0.2m

■製品使用前に取扱説明書をお読みになり、充分理解した上でご使用ください。ご不明な点は、販売店または当社へご照会ください。
誤った使用法、勝手な修繕・改造などによる故障などにつきましては補償いたしかねます。
■製品の仕様、デザイン、価格等予告なく変更する事があります。
■製品の製造管理には万全を期していますが、万一、当社の製品管理上の原因による品質不良がありました場合は、同等の新しい製品とお取り換えさせていただきます。それ以外の責任はご容赦ください。

※「安心、安全な製品の使い方ワンポイント・アドバイス」をジェックスホームページにてご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

☎ 072-966-0054
「ジェックスサービスセンター」

このやさしさを人と社会へ
ジェックス株式会社
GEX URL http://www.gex-fp.co.jp/
〒578-0903 大阪府東大阪市今米1丁目14番15号

1B-14